

第4学年2組 学級活動（2）学習指導案

令和5年11月2日（木）第5校時
在籍児童数
指導者

- 1 題材「整理整とん上手になろう ㊟ぐやる ㊟きぱき ㊟きれい な4の2」
学級活動（2）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ア 基本的な生活習慣の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

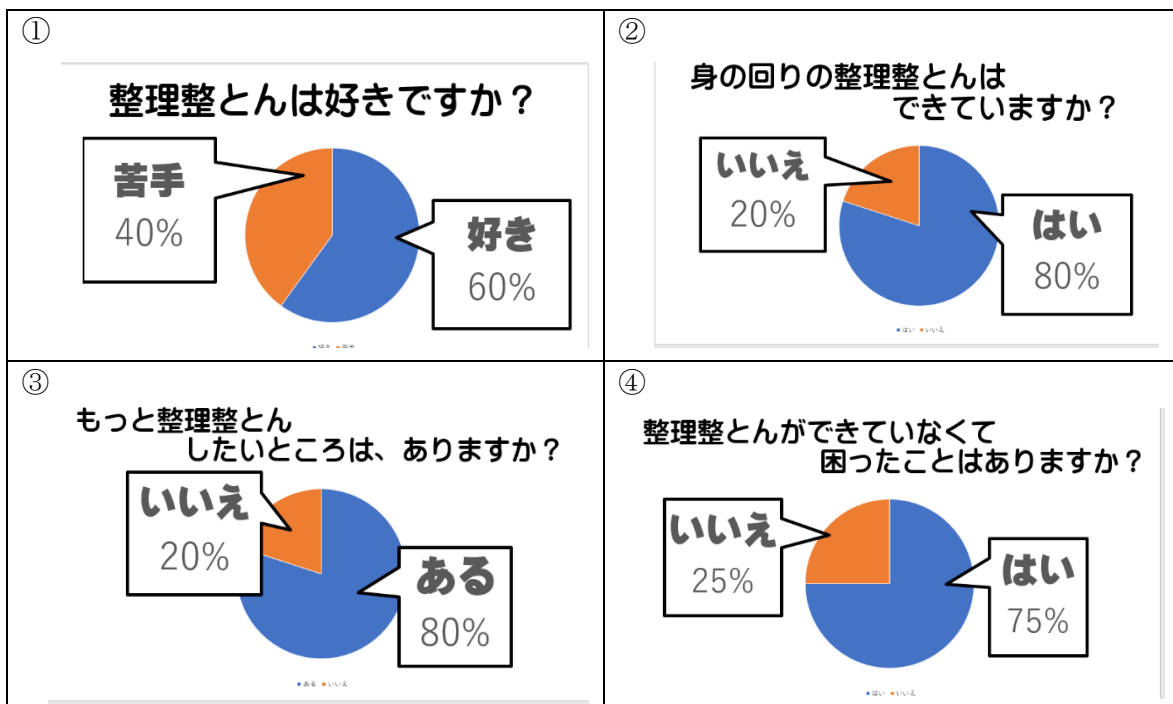
本学級の児童は、明るく元気で、何事にも意欲的に取り組む様子が見られる。学級活動の話合いが好きである児童が多く、自分の意見やアイデアをよく共有しようとしている。だが、一方的に話している場面や、最後まで注意深く聞くことが難しい場面も見受けられる。

基本的な生活習慣では、チャイム着席や授業準備などの基本的なルールを守ることのできる児童がほとんどである。一方で、守ることのできない児童には個別に声を掛け、基本的な生活習慣が身に付くようにしている。

これまでの学級活動（2）の学習指導においては、「給食をおいしく食べよう」「めざせむし歯0」などの題材で話し合った。課題を自分事として捉え、それを解決する方法を考えて、自分なりのめあてをもって取り組む活動を行った。実践後も、給食では全員が完食できる日が多く、個々の努力を感じる。

(2) 題材設定の理由

本学級では、自分の身の回りをきちんと整え、落ち着いて生活することのできる児童が多くいる。本棚の乱れに気がついて、進んで整頓を行う児童もいる。みんなで使うトイレのスリッパは、次の人のために揃えておくことのできる児童がほとんどである。また、教室内で整頓されていない箇所があったり、ゴミが落ちていたりする時には、声掛けをすればみんなで取り組もうとする。しかし、置き勉ボックスに物が入りきらない、ランドセルにたくさん物が入っている、引き出しの中が整頓されていないなどの課題が見られる児童もおり、指導が必要である。



上記のアンケート結果からも、「①整理整頓は好きですか？」では児童の40%程度が「苦手」、「②

身の回りの整理整頓はできていますか？」では20%程度が「いいえ」と回答していることがわかる。「③もっと整理整頓したいところがありますか？」に対し、「改善したい所がある」と答えている児童は80%であった。

本題材は、学級活動(2)「ア 基本的な生活習慣の形成」に関わり、これまでの自分の身の回りの様子や、みんなで使う物の扱い方について見直し、望ましい整理整頓の仕方を考えて実行していく学習である。

身の回りを整理整頓することで、焦らず授業に取り組むことができたり、使いたい物をすぐに使えたりすることができ、学習に集中することができる。また、みんなで使う物をきちんと整頓しておくことは、次に使う人への思いやりであり、マナーである。日頃、そのような意識を持って行動できている場面にも触れ、よりよい集団としての意識を育てていきたい。整理整頓をすることは、「自他共に気持ちよく生活する上で大切である」と実践を通して感じられるようにしたい。

「つかむ」の場面では、日頃の身の回りの片付け方を児童自身が振り返りやすいように、アンケートのグラフや写真等を有効に活用し、必要感を持たせる。

「さぐる」の場面では、事前に調査した学校内の整理整頓された場所を想起し、課題解決の手がかりとして、自分達が使う場所にも生かすことができないかを考えさせたい。

「見つける」の場面では、話し合いの型を活用し、円滑な話し合いができるようにする。グループごとに整理整頓のアイデア(解決方法)を発表し合い、実際に整理整頓する時間を設け、色々な方法を試したり、比べたりする。

整理整頓における実態は様々であるため、めあてを「決める」場面で、何が本当に自分に必要なことか、何が継続して取り組みそうかをよく考えて自己決定することができるようにし、実践に繋げたい。事後の活動では、児童が互いの良い行動を伝え合うことや、教師の見取りを通して、継続して実践していく意欲を高めたい。

実践をしていく中で、児童が自分の立てためあてを守って行動している場面や、成長が見られる姿はすかさず褒め、自信を持たせていく。そして、自分の身の回りにとどまらず、みんなで使う物や場所は自ら進んで整えていくような学級風土を醸成したい。さらに、家庭での生活においても、自ら課題を見つけ、学校での実践を生かして取り組んでいけるように励ましていく。

【道徳との関連】

節度・節制

協調性

ルールやマナーを守ること(規範意識の醸成) → 相手を尊重する意識をもって生活すること

【国語との関連】

話すこと・聞くこと

メモの取り方(事前調査)

3 研究主題との関わり

本校の研究主題は、「互いに認め合う学級風土を土台とした対話する力の育成」である。児童が生きるこれからの社会では、答えのない問いに対して、多様な立場のものが議論し、納得解を生み出していくことが求められる。その過程で、他者との対話(コミュニケーション)は必要不可欠であり、他者と好ましく対話する力は、人生を豊かなものにするための基盤になると考える。

そこで本校は、話すこと・聞くことを中心とした「対話する力」に重点を置いた学級風土づくりと授業改善を行うことで、児童が主体的に自分の考えを表現し、対話を通して考えを深めたり高めたりしていけるよう、研究に取り組んでいく。



4 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見直しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> ・題材を知る。 ・アンケートに答える。(Forms) Q身の回りの整理整頓はできていますか 等 ・身の回りで整理整頓されている箇所を事前調査する。(校内探検/インタビュー) ・撮った写真をメタモジに貼っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題意識の共有化を図る。 ・自分の現状について考えたり、学級の現状を調べたりして問題意識を高める。 ・整理と整頓の違いをおさえておく。 ・課題解決のヒントを得るためという目的を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを通して、これまでの自分の整理・整頓の仕方について振り返ろうとしている。 【態】(アンケート)

6 本時のねらい

整理整頓の仕方について、自分の行動を振り返ったり、友達の考えを参考に考えたりしながら、身の回りの物をより使いやすくするための整理整頓の仕方を理解し、自分のめあてを意思決定し、実践していくことができるようにする。

7 展開

段階	学習活動	学習内容	◎指導上の留意点◎評価(配慮・手立て) ★話す・聞く活動の工夫
つかむ	1 これまでの身の回りの整理整頓について振り返る。		○アンケート結果(グラフ)から、自分の整理整頓の仕方を振り返り、問題意識を高められるようにする。 ○整理整頓されていないと、どうなってしまうかを押さえる。
	2 本時の課題を確認する。		
上手に整理・整とんをして、気持ちよく生活できるように がんばることを決めよう!			
さぐる	3 どんなどころが片付けられないかを考える。		○できていない部分を青短冊に書いて掲示する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡袋がパンパン → くしゃくしゃの紙・溜めてしまう ・ランドセルがパンパン → いらぬ物が入っている・時間割を揃えていない ・引き出しがパンパン → ぐちゃぐちゃに入っている・使わぬ物が入っている ゴミがある・区切った左右の使い方が違う ・置き勉BOXに入りきらない → 閉じていないプリント・持ち帰っていない物がある ・机の横どっさり → いらぬ物がかかっている・決まった場所にしまっていない 	○クラスの様子の写真を見せ、課題を自分事として捉えられるようにする。

	4 整理整頓をおろそかにしてしまう原因について出し合う。		○片付けができていない時の写真を見せ、児童の「わかっているけれどできない」気持ちを共有し、課題について必要感を高める。
見つける	5 課題解決の方法をグループで考え、出た意見を発表し合う。	○課題解決の方法を考えること ○便利になる整理整頓の仕方 ○3人組での話合いの仕方	○インタビューや見学したことを想起することで、自分達の身の回りでも生かすことができるかを考えられるようにする。 (解決方法を導き出す手立て) ○児童から出た意見を黄色短冊に書いて掲示し、必要に応じて分類する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ物どうしでしまう ・使ったらすぐ戻す ・入れ方の順番を工夫する (ランドセルの中身) ・引き出しのルール (例…左右の使い方/金曜日に整理/ゴミは帰る前に捨てる等) ・机の横は決められたものだけ 		
			◎よりよい整理整頓の方法を考えている。 (思考・判断・表現)【観察・発言】 ★話型を示し、役割ごとにスムーズな話し合いができるようにする。(手立て①) ○実際に整理整頓の時間を設け、いくつかの方法を試す。
決める	6 学習を振り返り、自分の今後のめあてをもつ。	○学んだことを踏まえて自己のめあてを立てること	○「見つける」で掲示した短冊を見て比べながら選んだり、参考にしたりしながら決めることができるようにする。 ○めあてが①継続できそうか②必要であるか③具体的であるかを机間指導で見取る。 ◎自分の課題に合った具体的なめあてを決めている。 (思考・判断・表現)【発言・実践カード】
	7 振り返りを行う。		○今後の活動に意欲が高まるように、児童から出た意見の中からキーフレーズを確認する。

8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> 決定したためあてを実践する。 生活を振り返り、実践について自己評価及び見直しを行う。 朝の会や帰りの会で自分の取り組みをスピーチで伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 称賛や励ましの言葉を書き込み、継続して取り組む意欲を高める。 自分の物だけではなく、みんなでする物も意識が向くように随時声掛けをする。 友達の取り組みを知り、自分に取り入れられそうな事があるかを考えられるようにするとともに、みんなで気持ちよく生活できるように継続して取り組む雰囲気作りをする。 	◎自分で立てためあてに進んで取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 (実践カード)

9 板書計画

上手に整理・整頓をして、気持ちよく生活できるように がんばることを決めよう！

つかむ	さぐる	見つける	決める	
アンケート結果	連絡袋バンパン	ためない、すぐ出す	4班	1班
写真	引き出しごっちゃり	左右の使い方	5班	2班
			6班	3班